

麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト

【令和4年度予算額 100(100)百万円】

(令和3年度補正予算額 3,250百万円)

<対策のポイント>

麦・大豆の需要を捉えた生産の推進により国産シェアを拡大するため、作付の団地化と営農技術の導入、農業支援サービスの活用等による産地の生産体制の強化・生産の効率化を支援します。あわせて、作柄変動の大きい国産の供給力を安定させるため、民間保管施設の整備や一時保管により安定供給体制を確立します。

<事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

○ 小麦生産量の増加 (76万トン→108万トン) ○ 大麦・はだか麦生産量の増加 (17万トン→23万トン) ○ 大豆生産量の増加 (21万トン→34万トン)

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 麦・大豆等水田農業の生産体制強化

水田麦・大豆産地生産性向上事業

100 (100) 百万円

【令和3年度補正予算】2,148百万円

団地化の推進と営農技術の新規導入と併せて農業支援サービス等も活用した省
力化の推進により、生産性の向上や環境に配慮した営農に向けて技術の新規導入
を図る先進的な麦・大豆産地の取組に対し、ソフト・ハード両面から支援します。

2. 需要に応える供給の実現と国産使用拡大

① 麦・大豆保管施設整備事業 【令和3年度補正予算】900百万円

国産麦・大豆の安定供給に向けた保管施設の整備や、保管施設の整備と一
体的に行う処理加工施設の整備を支援します。

② 麦類供給円滑化推進事業 【令和3年度補正予算】132百万円

国産麦の供給を円滑化するための一時保管を通じた安定供給体制の構築を
支援します。

③ 麦・大豆利用拡大推進事業 【令和3年度補正予算】69百万円

国産麦・大豆の利用拡大に向け、商品開発、マッチング等を支援します。

(関連事業)

戦略作物生産拡大支援事業 87 (97) 百万円の内数

農地耕作条件改善事業 24,790 (24,790) 百万円の内数

スマート農業の総合推進対策のうちデータ駆動型農業の実践・展開支援事業

173 (173) 百万円の内数

<事業の流れ>



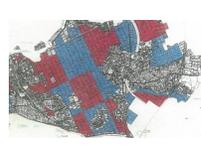
【お問い合わせ先】

1. 麦・大豆等水田農業の生産体制強化

団地化の推進

営農技術の導入
・畑地化実証支援

施設整備・機械導入



団地化推進に向けた話し合い等
の必要経費を支援 (定額)

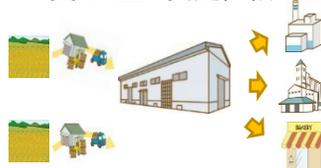
営農技術の導入や畑
地化に向けた栽培実
証を支援 (定額)

生産性向上に必要な
施設・機械導入等を
支援 (1/2以内)

2. 需要に応える供給の実現と国産使用拡大

麦・大豆の安定供給

麦・大豆の利用拡大



保管施設の整備に向けた支援
(1/2以内)

国産麦・大豆の商品開発等を支援
(定額、1/2以内)

(1、2①③ (大豆) の事業) 農産局穀物課 (03-6744-2108)
(2②③ (麦) の事業) 貿易業務課 (03-6744-9531)

- 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクトについて、令和3年度補正・4年度当初予算実施分で予算額33.5億円に対し、約31.6億円の要望があった。

<令和3年度補正・4年度当初予算実施分における事業ごとの執行状況>

事業名	概要	割当て額 (見込みを含む)	予算額 ※括弧内は予算額に対する 割当て額の割合
①水田麦・大豆産地生産性向上事業	団地化の推進・営農技術の導入に取り組む産地をソフト・ハード両面で支援	22.2億円	22.5億円（99%）
②麦・大豆保管施設整備事業	国産麦・大豆の安定供給に向けた保管施設整備を支援	7.4億円	9億円（82%）
③麦類供給円滑化推進事業	国産麦の一時保管、安定供給体制の構築を支援	1.3億円	1.3億円（100%）
④麦・大豆利用拡大推進事業	国産麦・大豆の利用拡大に向けた商品開発、マッチング等を支援	0.7億円	0.7億（100%）
合 計		31.6億円	33.5億円（94%）

※ ①水田麦・大豆産地生産性向上事業については都道府県を通じた要望調査、その他3事業については公募を実施。